

第4回 潟上観光フォトコンテスト 審査選評について

今回のフォトコンテストは、新型コロナウイルスの蔓延する中での実施でした。祭りやイベントが中止になるなど、人の集まりが制限される中、撮影者は写真の題材を選ぶのに苦労していたと感じます。したがって風景写真が多く、その題材も似たようなものが多くなったのは仕方のないことかと思います。可能な限り早く新型コロナウイルスの流行が落ち着き、各種イベントを再開してほしいものです。

今回のコンテストでも春夏秋冬、朝から夜まで様々な潟上市の一面を見ることができました。応募作品の中で何を題材したのか、その構図の明確な写真が印象に残りました。選評から漏れた写真の中にも良いものはあったのですが、写真から受ける感じが題名に反映されていると、作品としてさらに良くなると思います。

インスタグラム部門では、一般プリント部門とは違った視点で撮影された作品が多く、見ごたえがありました。スマートフォンで撮影したものは、限られた画角の中でどのようにその瞬間を切り取るかが難しいのだと思いますが、受賞した作品はそれが上手な印象でした。

京谷 和弘